

1. 件名：「美浜発電所の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（6）、高浜発電所の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（6）及び大飯発電所の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（6）」

2. 日時：令和3年2月4日（木）10時00分～10時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：小山田安全規制調整官[※]、三井上席安全審査官[※]、佐藤主任安全審査官、中村主任安全審査官[※]、永井主任安全審査官[※]、菅谷技術研究調査官、松末技術参与

関西電力株式会社：土木建築室 地震津波評価グループ

チーフマネジャー 他3名[※]

原子力事業本部 原子力土木建築センター 課長[※]

東京支社 技術グループ マネジャー[※]

※：テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・美浜発電所3号炉 申請書添付書類六 7章 火山事象の影響評価の新旧比較表（設置変更許可申請との比較）
- ・大飯発電所3、4号炉 申請書添付書類六 8章 火山事象の影響評価の新旧比較表（設置変更許可申請との比較）
- ・高浜発電所3、4号炉 申請書添付書類六 8章 火山事象の影響評価の新旧比較表（設置変更許可申請との比較）

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい、それでは、関西電力の寺田でございます。今回の補正内容についての御説明をさせていただきます。資料につきましては、3種類を用意してございます資料1-1から1-3まで、これは各サイトごとに策定した新旧比較表でございます。
0:00:21	いずれも層厚以外の記述に関しては共通ですので、今回資料1-1、美浜を代表例に御説明を始めさせていただきます。
0:00:33	それでは資料1-1、1ページ目をお願いいたします。7.5. 1.1mbポツ、第1000 プラステフラという表題から今回変更いたしました。変更しました表題としては、ダイセツ殺し軽石及び第1000 生竹かかるし、
0:00:53	でございます。こちらは一昨年の9月の申請後のヒアリングにてご指摘いただいた
0:01:03	ことへの対応でございます。
0:01:05	最初の段落では財政面の概要について記載してございました。今回Yamamoto2018、それから期初気象庁に関する治験の追記を行ってございます。
0:01:22	こちらはこの審査会合で御説明のところでございます。
0:01:28	それから、ちょっと中段付近に行きまして当初申請ではすいません、こちらの話題性の噴火履歴についての切り口でございますが、第1000 プレステフラDKPの活動間隔とDKPに至る活動間隔とDKP機構の活動間隔について、
0:01:48	ちょっとしたものでございます。こちらのほうで当初申請では普通立方以下の規模の噴火についてはDKP以前以降にF繰り返し生じているという記載がしてございましたが今回審査資料のほうでも
0:02:05	起立を変えさせていただきましたが、DKP以外の噴火についても繰り返しているというふうに記述を変更いたしました。
0:02:19	それから次の段落に行きまして、繰り返し生じた噴火のうち、DNPについての記述を追記いたしております。
0:02:29	いくつかの層厚情報をもとにトウソウ圧線図を作成しまして、グロス方と早川のほうで算出した結果、最大で11立方キロになったということ。それから原子力規制委員会の知見を踏まえて、12本以上と。
0:02:47	噴出量が考えられていることを踏まえまして、火山影響評価条件DNPの本資料は11立方キロXI浮いて0kmリポートするというふうな記述を加えました。さらに、
0:03:03	新たにトウソウ圧線図を7.5. 4図として追加してございます。
0:03:14	次の段落では、富士通手続きに関する記述をしてございました。こちらでも審査でもご指摘いただいたものになります。

0:03:25	1 ページ目の下から 2 行目のところから、次のページにわたりまして、原子力規制委員会による噴出率期に関する試験、
0:03:34	それから山本ファン山本による知見、
0:03:38	を引用してございます。
0:03:42	これらのことからというところになります、巨大噴火のDKP規模の噴火は、こう噴出率期のみで発生すると考えられまして、現在においてはその可能性は 10 分低いという記述を書き加えてございます。
0:04:00	それから、DNPにつきましては、か材料評価書低噴出期に発生した噴火とみなしまして、火山影響評価の対象として考慮しますよと。
0:04:11	いうことをさらにDNPとDKPは 1. の巨大噴火ではないというふうな評価結果を既設記載してございます。
0:04:23	次の段落からはマグマだまりの振動或いは浮力中立点に関する記述してございます。
0:04:33	下のほうに赤字で記載してございますが、こちら審査会合で、ご指摘いただいたところになります、原子力規制委員会による 10km以浅にマグマ低地部かさに関する記述に関しまして、仮にカルデラ体制がカルデラ噴火であって、
0:04:51	としてもっと時の分子震度は 10 分低いという記述を書き加えてございます。
0:05:02	次の段落でまとめた記述になります、火山影響評価上へ発電所運用期間中の考慮すべき噴火規模として、DKP以外の分間の中で最大規模となるDNPをどうしてその 11 を
0:05:20	その補助金も収益ポートしたという記述に改めてございます。続いてシミュレーション結果を記載してございます。
0:05:31	担当いたします。
0:05:35	シミュレーションの結果をお示しました上で、DDFPにつきましては、木幡では評価さ 25cmというふうにご考慮をすることにいたしまして、その個社た知見の 25cm、それから第 1000 から少し破綻或いは発電所までの
0:05:52	処理の関係から発電所地点における総厚を検討した結果、美浜では 22cm なるということをご記載してございます。
0:06:05	続きましてちょっと違う方になりますんち変更ございませんので、数ページ飛ばさせていただきます。
0:06:13	5 ページ目をお願いいたします。
0:06:19	上の方、7.5. 1
0:06:22	1.3、評価結果でございます。こちらの方、先ほどご説明しましたが、だってこちらた地点の層圧を踏まえた距離の関係からというその検討を書き加えてございます。さらに

0:06:39	発電所地点における最大層圧を美浜では 15 から 22 日に変更いたしました。
0:06:49	続きまして、参考文献は、
0:06:54	8 ページ目。
0:06:57	幾つか 1 件を文献を見てございます。ちょっと説明を省略させていただきます。
0:07:08	14 ページお願いいたします。
0:07:13	今回新たに図を追加しまして一つだDNPの等層圧線図、こちらはもう審査会合同士の
0:07:23	それからその下の喪失利付に関する
0:07:28	次のページの山本アンド伴による構築物機器の評価、こちらも新規で終わってございます。
0:07:38	それ以降、変更はございません。
0:07:43	御説明は以上になります。
0:07:48	はい。ありがとうございます。
0:07:51	規制庁サトウですけども、一応私のほうからちょっと幾つかですね確認をさせていただきますと思っています。
0:07:59	1 ページ目をちょっとお願いいたします。
0:08:03	もう
0:08:09	bポツの第 1000 くらいをしっかりと書及び耐専生竹軽石括弧第一線というところの二つ目のパラグラフですかね。
0:08:19	耐専の噴火規模よりってありまして、した 4 行目ぐらいなんですけども。
0:08:25	発電所運用期間中における規模の噴火の可能性は十分低いと考えられるって書いていて、
0:08:32	この規模っていうのがですね後ろのほうの
0:08:37	グラフには、表にはですね書いてはいるんだけどこの規模っていうのをちょっと明示的に書いたほうがいいんじゃないかなと思っていて、
0:08:51	そういうふうに思いました、明示的に書いたほうがいいかなというふうに思います。その規模なんですけどもこれ
0:08:57	グロス方とかですね、あるんですけども。
0:09:03	そう少し手法によっては早川方とかあるんですけども手法によって、規模が少し幅があるというふうに思うんですけども。
0:09:14	これ例えば噴出量 20 立方以上とか、そういう書き方にしたほうがいいのかかなと思ってるんですけども。
0:09:22	その辺はいかがですか。
0:09:38	その後、

0:09:39	関西電力の明です。はい、御指摘ありがとうございます。今いただいた場所の部分ですねその上の行、前後の文脈から考えますとですね次のライス第一線くれしてっ彼氏規模の噴火前までには十分時間余裕、
0:09:57	考えられて書いてますんで、この規模のさすのは、
0:10:02	自然に考えると、あれですよ、耐専これ薄いから下ということで、読み込め部分じゃないかなと思うんですけどその辺ではなくてですね、幅があるからそこは 20 っていうのをしたいとおっしゃれないんでしょうか。はい。文章を読めるんですけども。
0:10:19	耐専くらい押しの明示的な規模っていうのは多分書いたほうがいいのかと思っ ていますけども、
0:10:25	その規模も早川でやるのか、いろいろするのか、これYamamoto文献にも記載はされてるんですけど少し幅があるので、すごい藤代 20 立方以上とか、例えばですね、そういう書き方のほうがいいのかというふうに思ったんですけども。
0:10:42	その二つの観点です。
0:10:46	関西電力テラダでございます。10 ページご覧いただきますと、こう点すみません第 7.5. 3 図、こちらのまだ財政の噴火履歴ということで、当社では時エー ジーピーは 20、
0:11:04	. 74 立方キロというふうに評価してございます。それを上回る知見があるというの も承知しておりますが、一応図もご覧いただければ、DKP規模というのはこれぐ らいやというところは 4 にトレイ、
0:11:22	のではないかなと考えますが、いかがでしょうか。
0:11:28	はい。規制庁サトウですけども、読めるんですけども、表もですねそもそもあの 手法の違った実は方法で評価した表を同じ土俵にのっけているので、実は正 確性っていう観点からは若干
0:11:46	書けるところもあるんですけども、そういう観点ですね規模を明示的に文章に 入れるという方がいいのではないかなというふうに思っています、或いはその このテーブル自体がですね今 20 っ書いてますけども、
0:12:03	それ以上みたいなそういうその書き方もあろうかと思いますが、いかがですか ね。
0:12:18	そうです。
0:12:28	先にそしたらちょっと私の気づきだけ申し上げますので。適宜を考慮いただ ければというふうに思います。
0:12:39	ページめくっていただきまして 2 ページですけども。
0:12:48	追加した新しく新たに今回追加した 3 パラ目ですけども、
0:12:55	これらのことから、

0:12:57	ていう始まって一連の巨大噴火ではないと評価するって、それはいいんですけど、次のですね。
0:13:03	お金をカイダ。
0:13:05	1997 及び島民は 1997 から始まる文章があって、2 行下に、原子力規制委員会 2019、文献が 62 とありますけども、
0:13:18	これほんとに分引用するんですかっていう話になります。ここをちょっと私気にしておりまして、というのはこれ引用文献 62 を見ますとですね、地震津波技術検討会の資料をだっただと思いますけども、
0:13:35	これはパワーポイントの資料ですかね。
0:13:39	地震津波評価検討。
0:13:42	技術検討、基準津波技術評価検討会ですね。
0:13:47	パワーポイントの資料なんですけども、これ
0:13:50	いわゆるそのマグマの定置深さということで概ね 10km 以浅というそういうその知見というふうにして使ってはいるんですけども。
0:14:03	これちょっと知見として使いにこれパートのときに御説明いただいたときには、PowerPoint レベルでしたので私はもらってコメントしなかったんですけども。
0:14:13	さすがにこれ知見として引用していただくにはやっぱり査読をしていただいた論文を引用するのかなと。
0:14:22	いうのが数字なんじゃないかなと思っていますけども、
0:14:26	それに比べてですね例えば鐘をカイダとかですねこれはもうテキストの話なんで、そういう知見であればいいかなと思うんですけども。
0:14:37	これを規制委員会 2019 を使うかどうかっていうのはちょっとやっぱり
0:14:46	考えなくちゃいけないかなというふうに思っています。
0:14:51	それが二つ目です。
0:14:53	この後、
0:14:55	2 ページのですね下から 3 行目これマイナーなコメントで
0:15:01	下から 3 行目その噴出規模 11 立方キロメートルとしていうのはこれ立法ウワーつきですねこれね多分。
0:15:09	若月。
0:15:13	それから次のページ 3 ページ目。
0:15:20	上から一、二、3c 項 6 行目。
0:15:24	発電所地点における総厚を検討した結果 2212cm となると、多分これ 21.4cm ではないですかね。
0:15:34	ここでの記載。
0:15:37	というふうに思っております。

0:15:40	ここは
0:15:43	当初申請から変わりはないということでもいいと思うんですけども。
0:15:48	ちょっとマイナーなコメントになりまして、引用文献のほうなんですけど、
0:15:52	8 ページをお願いします。
0:15:57	引用文献のXI気象庁ホームページを引用されていますけどもこれは確認した日付をですね記載していただきたいというふうに思ってます。
0:16:07	ページの場合は
0:16:08	確認した日付を記載するというのがルールになってますので、
0:16:13	その日付を追記していただきたい。
0:16:17	それから 62 ですけども、これ先ほど申し上げました第 8 回地震津波技術検討、評価検討会でこれパワーポイントの資料なのに、
0:16:27	資料になってるんですけども、これを本当に知見として引用するかどうか。
0:16:32	っていうところですね。
0:16:36	それからあともう一つですね、引用文献で、
0:16:41	北海道のほうですねテキスト引用しているところがあったんですけど、
0:16:51	広瀬井戸先生の名前が間違っていたやつと、7 ページ 44
0:16:55	44 引用文献、
0:17:03	伊藤先生の名前が間違っていて、これ全学の前ではなくて、喜ぶなので、すみませんこれ単純なタイプミスだと思いますので、
0:17:13	そこだけコメント差し上げておきます。
0:17:19	それからあととんですね、ちょっと前段に戻っていただいて紛失滅の同定できる降下火砕物
0:17:27	を抽出した
0:17:29	プロセスっていうか、抽出したその理由として、多分敷地周辺である程度その層厚がそある程度の層圧がその確認できるテフラを抽出したと。
0:17:45	いうふうに理解してますけども、
0:17:48	そこはそういう理解でよろしいですか。
0:17:53	以上ちょっと幾つか申し上げましたけれどもコメントしておきますが、
0:17:59	関西電力さんの方から何かあれば回答をお願いいたします。
0:18:10	そうです。
0:18:13	その下、
0:18:49	すみません関西電力の間こえてますでしょうか。
0:18:54	私からのコメント以上なんですけども。

0:18:58	はい。関西全力のテラダでございます。最後の御指摘につきましては、サトウさんのおっしゃる通りでございます。それから本文中に関する記載につきましては、確認の上、検討させていただきたいと思います。
0:19:17	多分規制庁サトウですけども、審査をしていた時の皆さんの審査資料をパワーポイントの資料にはですね、敷地種敷地及び敷地周辺において高角、後配総数は比較的厚い降下火砕物としてというふうな多分フレーズがあったと思う。
0:19:36	って言って。はい。それと皆さんの今回の補正表補正の内容ですねちょっと比較して、
0:19:45	来記載がですねちょっとなかったのかなと思っているんですけども。
0:19:51	これ紛失減が同定できる降下火砕物のやっぱ降灰層厚をどうやっていくつかありますけども決めたか。
0:20:03	抽出したことっていうそこがねやっぱちょっと足りなかったんじゃないかなと思っています。
0:20:11	以上です。
0:20:20	関西電力の布田でございます。ご指摘については承知いたしましたちょっと今回当初申請するかそのままの既許可との整合を見ながらちょっと文章をつけた形をとりましたので、
0:20:36	ちょっとご指摘の件については検討させていただきます。
0:20:40	わかりました。あともう、もう1点だけすいません。
0:20:44	予算のパワーポイントの資料によって今回の補正にはなかったんですが、追放図面関係ですけども。
0:20:51	しきライス給源の敷地とそれからこうしはったの距離に応じて距離を発火距離とそれからし、
0:21:01	サイトの距離、これを踏まえて割り振って今回総厚を決められてるんですけども。
0:21:08	図面っていうのはパワーポイントにはあったんですけども、今回の補正にはなかったと思うんですけども、そこをもう入れる入れないはちょっとおまかせしますけども、これは今回は入ってないっていう町ちょっと事実確認だけさせていただきますけども、
0:21:24	入ってはなかったんですね今回監査人のテラダでございます。ご指摘2の図につきましては、その図でもって何か技術的なジャッジ或いは評価をしたものではございませんで、あくまで距離を示しただけの図になりましたので、今回
0:21:40	あえて、この図は採用しておりませんでした。

0:21:45	はい。了解いたしました。事実関係としては多分その降灰層厚の決定にあたってはですねええとまああのシミュレーションではなくて結果的には総合的な判断とはいうもののですね。
0:22:01	越畑地点の 25cm っていうのを重きにおいてですね、あとはサイト等の距離の周り分といいますかですね、それがな、決定打になっているというふうに思っていますけども、わかりました。事実関係は確認ができました。
0:22:18	私からは以上ですけれども他の規制庁の審査官の方から何かございますでしょうか。
0:22:27	本庁にいる人何かありますか。
0:22:32	規制庁ナカムラですけれども、この中身の話でないんですけども、ちょっと記載のことだけでちょっと言うと、
0:22:39	3 ページ、もう本当大したことじゃないです。細かいとこだけですけど 3 ページの 1、赤字のところです。
0:22:50	二相括弧 2a 層、2c 層って書いてて、次の行にも同じ西側出てるんですけど、多分これ、CDA、
0:22:58	大文字小文字
0:23:01	っていうのが変わった変換のときに多分変わっちゃったんだと思いますけどそこが違うのとで、もう 1 点は
0:23:09	ルビですね、
0:23:14	固有名詞のルビなんですけど、このページとか移行見ると、
0:23:19	例えばヒダ 300 とかほど高だけとかっていう形で大きく振られているんですけども、それと同じように合わせるんだったら 1 ページ目の耐専の関係とかもフリガナですね、てる方がいいんじゃないかなと思ったのがちょっと
0:23:37	気づきですね、大きな話じゃないですけど私から以上です。
0:23:43	関西電力、浦邊でございます。人C層、Cの話、それからサトウさんからもご指摘ありました。一方キロの 3 という数字でちょっとこの資料の方だけでちょっと修正漏れである可能性がありますのでちょっと確認させていただきます。
0:24:01	路面につきましてはちょっと結局カーの時の政治
0:24:06	そういうのもありますので、ちょっとそこは確認をいたします。以上です。
0:24:15	はい。ありがとうございます規制庁サトウです。リモートで入っている規制庁担当官から何かございますでしょうか。
0:24:24	まず、コヤマダさん、何かありますでしょうか。
0:24:28	コヤマダです。
0:24:30	規制庁コヤマダです。
0:24:34	今日、確認なんですけれども、その中で原子力規制委員会 2018、

0:24:42	を引用されて 61 番、
0:24:45	右上に 6 日バンとあるやったのが、
0:24:52	命令、
0:24:54	ものを引用されてるんですけども、
0:24:58	そこで、そういったものに示されていたので、評価しましたっていうふうに
0:25:05	読めるんですが、
0:25:08	事業者の方で何かそういった確認とかっていう中、
0:25:12	そういった時調査したとかっていうのはなかったんですけど。
0:25:16	そこちょっと教えていただければと思うんですが、
0:25:21	関西電力旭ですけど、今の話ある確認というのは、結果の確認の結果の確認 なんでしょうか。
0:25:32	例えば、その噴出規模の確認でしょうか。
0:25:36	すいません明確でなくて、実際に少し旗知見図りですね。
0:25:45	総厚を降灰層厚というのを確認するということはされてない中、
0:25:54	関西電力の明です。名報告聴取命令ベター以降ですね私たち、その後、越畑 参りまして、相続にしたというのではないはずです。
0:26:08	そう確認をしてないということなんですね。
0:26:11	層厚自体を確認してません。
0:26:14	これ、
0:26:17	はい。
0:26:18	あくまでも原子力規制委員会の
0:26:22	報告徴収命令を踏まえてということだということによろしい
0:26:27	はい。というのはですねこの報告徴収命令出ました 12 月の前の月ね 11 月の 2。
0:26:35	確か 27 日だと思いますけどその委員会で 25cm であるというふうを示され てますので、規制庁可能な、それを引用したという事でしかないですね、私は そう流向は確認しません。
0:26:50	時わかりました。
0:26:54	はい。規制庁本庁サトウですけどもミツイさん何かコメントありますでしょうか。
0:27:04	すいません規制庁ミツイですけど、聞こえていますか。
0:27:10	はい、聞こえています。
0:27:13	っていうのがちょっと今の
0:27:15	関係で、
0:27:17	3 ページにですね。
0:27:20	今回の修正箇所、

0:27:23	要はだDNPの講師派遣では二相に分かれますよとかっていう話が
0:27:31	書いてあってるんですけども、この
0:27:34	移送に分かれますよとかっていう話自体はこれはあれなんでしたっけ、これは、
0:27:39	すいません、事業者みずから確認した結果なのかそれとも
0:27:44	委員会が言ってることを言ってますよっていう目立どつちなんですよ。
0:27:51	その
0:27:53	関西電力明です。今の話的に言いますと、私たちは事業者も各 2 層に分かれるというところは確認してますし、規制庁様もそれを確認したので、その通り書いてございます。
0:28:10	ところに、
0:28:12	2 棟に分かれますって話は、両者とも確認しているものという理解でよろしいですか。
0:28:18	はい。その年の差関西出るわけです。その年の 3 月末に私達固定型に関して報告書を出してますけれども、そこには位相に分かれるというのは私たち明確に記載してますので、
0:28:32	私の認識はその通りです。
0:28:36	はい、わかりました。はい、私はそれだけで結構です。
0:28:41	はい。規制庁本庁サトウですけども、ナガイさん何かコメントありますか。
0:28:49	はい。続きナガイです。重複しないところをコメントして 1 点あります。1 ページ目のですね、今回追加されているこの繰り返しておった分かかるというパラグラフの 3 行目なんですけども、
0:29:03	辨野層と火報これ引用文献を記載する必要性はないでしょうか。
0:29:17	一般的にはテラダです。ちょっと引用につきましては、ちょっと確認をいたします。引用の必要性につきましては確認いたします。
0:29:29	はい、ありがとうございます規制調査を本庁サトウですけどもちょっと補足しておきますとですね、我々平成 31 年 4 月 17 日の規制委員会に上げた資料がございまして、皆さん方に出したその報告徴収に基づく関西電力からの
0:29:46	報告についてというタイトルでございましてそのペーパーレスですねまれグロス 2000 及び早川 1985 による手法みたいなそういう言い方はしてはいるので、
0:30:00	引用引用文献としてH入れたほうがよろしいかなというふうに思います。ちょっと補足でした。
0:30:12	規制庁からはコメントとしては以上になりますけども、関西電力さんの方から何かありますでしょうか。

0:30:21	関西電力の岩森でございますが、今日ヒアリングのお時間いただきまして。どうもありがとうございました。今ご指摘の点、いずれもですね記載の中身をより明確に的確に表現する上ではこちらのほうがいいんじゃないかという御趣旨の
0:30:41	ご指摘ではなかったかと思えます。我々もちょっと結局の規制ぶりをどうしてもちょっと踏襲するっていう観点での作業をしていたところもございまして、本日いただいたご指摘踏まえてですね、ちょっと採用について検討させていただきたいと思えます。ありがとうございます。
0:31:00	はい、了解いたしました。
0:31:02	1と規制庁からは以上でございますけども、本庁にいるメンバーそれからリモートで入っている審査官とか何か最後ありますでしょうか。
0:31:15	特段なければ、本日のヒアリングはこれで終了にしたいと思います。
0:31:21	規制庁コヤマダです。今後の提出のスケジュールとかっていうのは確認する必要はないですか。
0:31:31	はい。規制庁本庁サトウでございますけども本日コメントさせていただきましたけれどもこれを踏まえてですねちょっと関西電力さんのほうから、今後どうするかっていう対応についてはご検討いただいて、別途これ
0:31:47	対応図っていただくということになりますけども、今この断面ではなかなかすぐどこっていうことはなかなか言えない状況かなというふうに思いますので、そこはそういう理解でよろしいですかね。
0:32:00	関西電力の今後の連絡が
0:32:04	今後連絡をいただくということで、私のほうはです。はい。はい、よろしいでしょう。
0:32:09	はい、我々として、火山礫いかがですか。
0:32:12	会社で人数が多いですが、今の佐藤さんおっしゃった通りでございます、我々のほうを速やかにですね、どのように対応させていただきたいかということを改めて御連絡申し上げたいと思えます。
0:32:26	はい。規制庁サトウでございます。承知いたしました。
0:32:31	コヤマダさんよろしいでしょうか。
0:32:35	規制庁コヤマダです。はい、了解しました。よろしく申し上げます。
0:32:39	それでは特段、当庫
0:32:42	これでこれ以上コメントなければこれで本日のヒアリング終了にさせていただきたいと思えます。
0:32:49	それでは、よろしいですか。すいません、それをコヤマダさんを確認をしないんですよ。

0:32:58	何か結局、
0:33:00	確認した事項について何か。
0:33:03	今日きょう費等、審査資料自体の確認ではございませんので、
0:33:10	特に不要かと思えますけども、
0:33:13	そうですか。
0:33:17	ちょっと事業者との間ですね、
0:33:23	ミツイなんですかね、確認した事項はお互いに
0:33:27	確認しておくってことだったかなと思うんですが、
0:33:32	はい。
0:33:38	関西電力の方で何かリストを作っておられない。
0:33:46	関西電力の寺田です。
0:33:49	今日ご指摘いただいた事項につきましては、リスクとかということは当然業務上必要かと考えておりますので、作成次第、例えばご確認いただく或いは次のヒアリングで冒頭で御確認通学ということは、
0:34:04	可能かなと思えます。
0:34:07	お互いあまりずれが生じないためにですね、どういことを確認したのかっていうのは、
0:34:16	ちょっと見たほうがいいのかないかなって気はするんですけども。
0:34:19	うん。
0:34:20	関西電力の岩森です。もしよろしければ1-1の資料を用いましてですねさと今皆様から御指摘いただいたところですね、あと少し復唱させたことと思えます。まず1ページ目でございますけども、
0:34:38	この各テフラを大間について記載をしておりますけども、このテフラを考慮することに至ったところですね、敷地周辺や敷地の付近で得られた相場つの状況をもとに、これらが抽出されたと。
0:34:54	いうところのいんとうろですね、明記したほうがいいんじゃないかということがあったかと思えます。それから各テフラの名前についてウリュウつかどうかということについて、ご指摘があったかと思えます。
0:35:09	それから、1ページ目のですね、このKPのところの含中でこの規模というものについては、例えばけども、この規模の後にですね、括弧書きで噴出量約20立方km以上というものを明記してはどうかと。
0:35:25	というようなことが御指摘があったかと思えます。それからあとこれクロス冒頭早川工についてはグロス2000とか早くうち985をこういった思うとですね、明らかにしながら書いてはどうかという御指摘のあったかと思えます。
0:35:43	意見は以上とってございまして、2ページ目でございます。

0:35:50	2 ページ目につきましてははですね、中ほどの原資と規制委員会さんの 2019、これはパワーポイント資料をということでもございますので、これを認容するかどうかというところについて、ご指摘があったかと思えます。
0:36:07	それから、2 ページ目の一番下でですね、11 立方キロ、これは月ということでこれを修正をいたします。
0:36:16	続きまして、3 ページ目でございます。
0:36:20	3 ページ目につきましては、人シートをUCの文字が無事故文字が用地表記してございますので適正化の方さしていただきます。またこの部分で 20cmと書いておりますがシミュレーションの結果ということではこの段階では 21。
0:36:39	4 ではないかという御指摘があったかと思えます。
0:36:43	あるとは引用文献のところでは 7 ページをフォローできんのを文献番号 44 番、1 が 3 の名前を適正化するということ。
0:37:01	それから 8 ページのほうをいきまして、気象庁さんのこのホームページの引用に当たりましては確認した日付を明確に明記する。
0:37:15	それから先ほども申し上げましたEO-62 番、これをここに要するんかの経費でございます。
0:37:25	それからあとズーッとしましては、最終的な評価に至るか 22cmの根拠となるその発電所との距離の図、これを繰り返してはどうかというそういう御指摘だったかと思えます。以上がこちらで今日の御指摘いただいた内容というふうに理解をしております。
0:37:44	すみません口頭でございますが、以上でございます。
0:37:50	はい。規制庁サトウでございますけれども私のほうでは以上で間違いないというふうに認識しております。
0:37:59	よろしいでしょうか。モットーで入っている本庁の皆さんよろしいですかそれで。
0:38:07	コヤマダさんいかがですか。
0:38:09	結局コヤマダです。私の方了解です。
0:38:12	ミツイさんよろしいですか。
0:38:15	結構であり、
0:38:17	ナガイさんいいですか。
0:38:20	確認しております。はい。
0:38:22	それではちょっと以上のところ、コメント本日さしあげたというところで今日のヒアリング終了させていただきたいと思えます。
0:38:31	どうもありがとうございました。
0:38:33	どうも、ありがとうございました。